

## 第6講

### レッスンに取り入れていく方法

- ・ 何から伝えていく？
- ・ 連弾演奏を取り入れる
  - ・ 即興演奏方法
- ・ 生徒のためのピアノアレンジについて

何から  
伝えていく？

## レッスンに取り入れる 3つのパターン

コード演奏自体を  
レッスンする

イメージをする  
大切さ、楽しさを  
伝えていく

生徒さんのために  
コード演奏を用い  
アレンジ/即興演奏  
をしていく

# コード演奏自体をレッスンする

こんな生徒さんにオススメ！

- 思ったことをどんどん言える生徒さん
- 思ったことを言えない生徒さん
- 楽譜通りの演奏が窮屈そうな生徒さん
- 自分で考えることに慣れていない生徒さん

何から  
伝えていく？

# コード演奏自体をレッスンする

## 伝える4つのポイント

- コードの仕組み
- コードネームに慣れていくと便利
- ハーモニーの響きを感じる・聴く癖づけ
- 表現を発揮できるような心理的安心を促す言葉かけ

何から  
伝えていく？

# コード演奏自体をレッスンする

## コードの仕組み

- 構成音
  - I -IV- V- I の概念も伝えていく
- ↓
- I (安定) -IV (広がり) -V (不安定) -I (安定)
- ハーモニーの中で感じる心理的要素を伝えるため

何から  
伝えていく？

## コード演奏自体をレッスンする

コードネームに慣れていくと便利

- はじめは I と V からスタート
- 構成音を使えばどの高さでもOK  
転回を変えてもOK  
→自分で選んでOK！の経験のため

何から  
伝えていく？

## コード演奏自体をレッスンする

ハーモニーの響きを感じる・聴く癖づけ

- コードを鳴らしたときの音の広がりを一緒に感じる  
→視覚的感覚だけではなく、精神的心理的感覚も養う

何から  
伝えていく？

## コード演奏自体をレッスンする

---

表現を発揮できるような  
心理的安心を促す言葉かけ

- 行動や心情に寄り添い、承認してから次の指導  
→ 安心感の中で「やってみよう」の気持ちが高まり  
感覚がどんどん開いていく

何から  
伝えていく？

# イメージをする大切さ、楽しさを 伝えていく

- コード演奏レッスン以外でも  
「イメージする」経験をたくさん積みましよう！  
→目的がわかった方が取り組みやすい、楽しめる

何から  
伝えていく？

生徒さんのために

コード演奏を用いアレンジ/即興演奏を  
していく

- 先生自身がどんな想いでアレンジ・即興演奏するのか  
もっておくべき！  
→ただの音の羅列のアレンジ？  
→こんな風に動いて！だけのリトミック即興演奏？

**イメージした想いをのせる、表現するって  
なんだか楽しそう！と感じてもらうため**